

兵庫県指定文化財

Unehara-Tanaka Historical park

うねはら  
有年原

たなか  
田中遺跡公園



赤穂市教育委員会



# 有年原・田中墳丘墓って、何がすごいの？

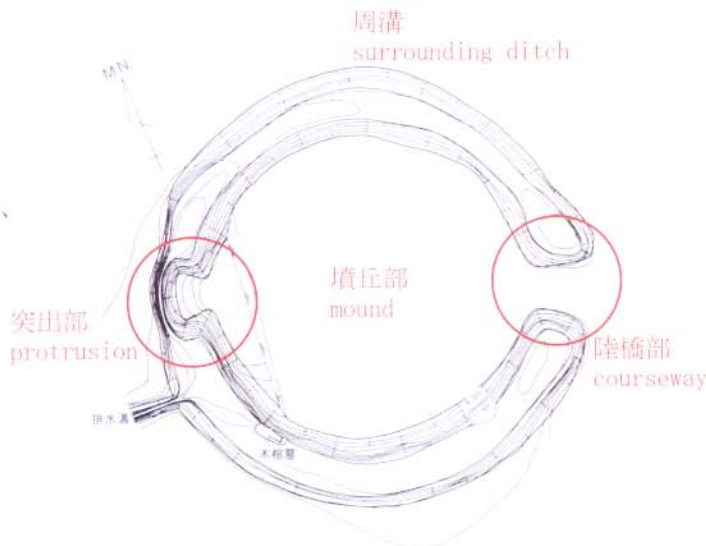
What is so special about the Unehara-Tanaka Burial Mounds?

有年原・田中遺跡では、弥生時代後期(約1900年前)の大きな墓が2基見つかり、このうち1号墳丘墓には、陸橋部と突出部(右図参照)がありました。

古墳時代に巨大な権力が生まれたことを示す前方後円墳は、弥生時代の墳丘墓の突出部が祭祀の場として発達した結果の形であることから、この墓はその祖形であると考えられます。

また周溝からは、たいへん飾られた壺とその器台が見つかり、これも従来までの墓の祭祀方法と異なって、最終的に埴輪の先祖となる吉備地域独特の土器「特殊器台」の祖形と考えられています。

このように、有年原・田中墳丘墓は、墓の形とその祭祀方法に後世の前方後円墳と共通する点が多く、前方後円墳の形や祭祀のはじまりを示す遺跡の1つとして、全国的に有名です。その価値はきわめて高く、兵庫県指定文化財となっています。



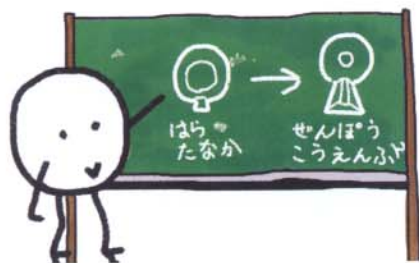
有年原・田中1号墳丘墓  
Unehara-Tanaka burial mound 1

The remains of two tombs have been discovered in this site Unehara-Tanaka, dating back to the late Yayoi Period (about 1900 years ago). Burial mound 1 features a protruding area and a courseway (refer to the figure above).

The area around the protrusion was used for ceremonies. This, and the sophisticated keyhole design of the tomb, illustrate the emergence of wealthy and powerful classes during these times. This site marks the first use of the tomb design which became standard throughout following periods.

Intricately decorated vessels and vessel stands have also been uncovered in the surrounding ditch. These kinds of ceremonial vessels are different from previous ones, and are believed to be an early instance of Kibi decoration, itself a forebear of Haniwa. These urns were used to hold offerings to the different spirits of nature.

The Unehara-Tanaka burial mounds are famous around the country as first representatives of the architectural and ceremonial styles that are also seen in other ancient areas such as Nara later, and their value has been recognised through designation as a Hyogo Prefectural Cultural Asset.



## 壺と器台から、埴輪へ

Changes from vessel and its stand to haniwa





# 有年原・田中遺跡を散策してみよう！

Let's go walking in Unehara-Tanaka historical park!

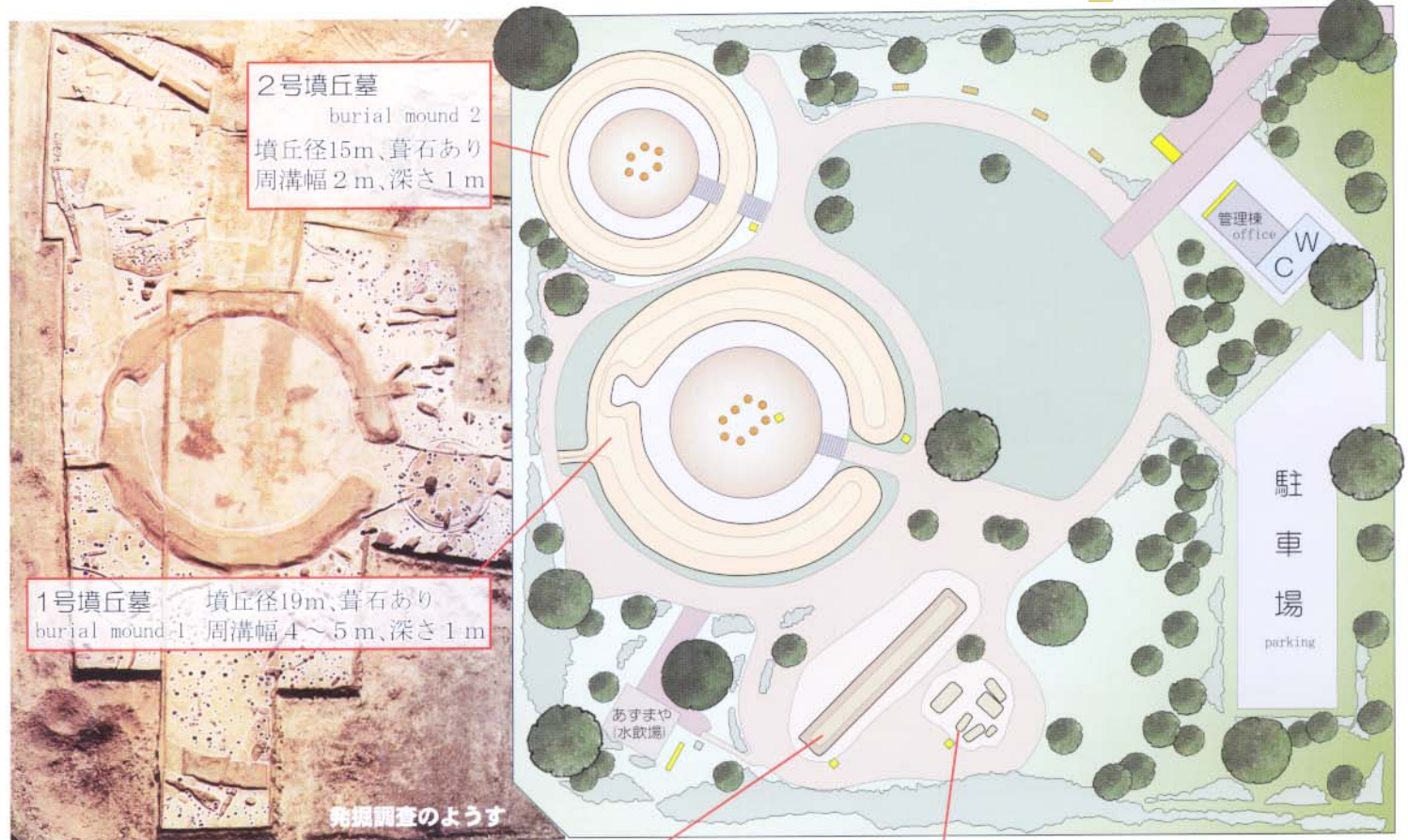
有年原・田中遺跡公園には、発掘調査で見つかった遺構が復元されています。すでに説明した1号墳丘墓や2号墳丘墓のほか、一般の人を葬ったと考えられる木棺墓群、そして木棺墓群と墳丘墓とを区画する溝があります。この溝は長さ20m、幅3m、深さ1mで、中からは100個体を越える完全な形の土器が出土していることから、何らかのお祭りが行われたと考えており、「祭祀土坑」と呼んでいます。なお、残念ながら、墳丘墓では木棺は見つかりませんでした。すでに破壊されてしまったのでしょうか。

有年原・田中遺跡では、墳丘墓と木棺墓を区画する溝があることから、古墳時代につながる権力が生み出されつつあったことがわかります。



2号墳丘墓から1号墳丘墓をみる

■ : 説明看板 (information board)



**2号墳丘墓**  
burial mound 2  
墳丘径15m、葺石あり  
周溝幅2m、深さ1m

**1号墳丘墓**  
burial mound 1  
墳丘径19m、葺石あり  
周溝幅4~5m、深さ1m

発掘調査の様子

**祭祀土坑** Excavations of ceremonial ditch



祭祀土坑と土器の出土状況

**木棺墓群** Excavations of wooden coffins



木棺墓の検出状況



# 利用案内

## ■入園無料

## ■開園時間

午前10時～午後4時

## ■休園日

毎週火曜日（祝日と重なった場合は翌日）

年末年始（12月28日～1月4日）

## ■交通

- ◎ JR山陽本線「有年駅」から北西へ徒歩20分
- ◎ 中国自動車道「佐用I.C.」から国道373号を南へ2.5km
- ◎ 太子竜野バイパス「太子北」から国道2号を西へ1.8km  
国道2号「有年原三叉路」交差点から国道373号を北へ1km
- ◎ 山陽自動車道「備前I.C.」から国道2号を東へ1.6km  
国道2号「有年原三叉路」交差点から国道373号を北へ1km

## お願い

みんなの公園です。大切にご利用ください。  
人に迷惑になるような利用は禁止いたします。  
ごみはお持ち帰りください。  
園内は、**禁煙・火気厳禁**です。



## ■問合せ先

赤穂市教育委員会事務局  
生涯学習課 文化財係

〒678-0292

兵庫県赤穂市加里屋81番地

TEL 0791 (43) 6962

有年原・田中遺跡公園

〒678-1182

兵庫県赤穂市有年原1090番地

TEL 0791 (49) 3722

※本パンフレットの英文は、  
赤穂市国際交流協会（AIFA）の  
通訳観光ガイド研究会によるご協力を  
いただきました。

## 記念スタンプ